

提案・要望・質問	回 答
グラウンドゴルフ場建設について	グラウンドゴルフ場の建設については、合併前の旧大根占町時代の平成16年9月と合併後の平成18年9月にグラウンドゴルフ協会等が「グラウンドゴルフ場建設の請願書」と「早期完成に向けての請願書」を議会に提出され、これを賛成多数で議決採択されています。 このような経緯と近年のグラウンドゴルフブームを反映して、平成24年度予算において基本計画書を作成しました。 現在のところ、敷地の面積やトイレ、駐車場等の問題、工事費用等を考えますとサンドーム横の町有地が最有力候補になっております。 今後、町民の意見を最優先に考慮して、町民が健康で明るく楽しく暮らせる町づくりの為、平成25年度以降に整備を進めたいと考えています。
自治会活動交付金の適切な配分方法の検討について	現在の配分方法は基礎額と納税実績によって決定されています。納税奨励金制度の廃止に代わる制度として、平成23年度から開始されましたが、納税奨励金の色合いが強く、今後アンケート結果を参考にし、配分方法の協議・検討をしていきたいと思っております。
神川地区排水計画の進捗状況について	神川地区の排水計画については、平成22年度に調査し、改善対策を取りまとめてあります。排水路改良計画では、浸水懸念箇所14箇所とそれに関連する、排水路の新設、排水の分水、水路断面の改良、水路の暗渠化等の工事が必要になります。今年度から改良整備として上流域の4箇所の工事を発注したところです。来年度以降も順次改良整備を進めていく予定であります。特に公民館からローソンに抜ける部分については、道路拡張の要望もあり、道路の線形や用地等解決しなければならない課題もあります。 以上のようなことから、神川地区の排水路の改良が完了するまでは、5～6年は掛かるのではないかと考えております。ご理解をお願いします。
地震津波等防災計画について	東日本大震災後、平成23年6月、町地域防災計画の見直し、津波警報が発令された場合の避難経路を新たに明記しました。津波については、県防災計画によりますと、鹿児島湾内においては、桜島の噴火による津波を想定し、津波到達時間20分、最大遡上標高1.7mを想定しております。また、日向灘沖地震については、到達時間56分、最大遡上標高1.8mを想定しています。これらについては、現在、県の防災計画の見直しが進められており、来年度中には新たな予想が設定されると思います。(現行の2倍程度)その時点で、町の防災計画も再度見直しをしなければならぬと思います。

提案・要望・質問	回 答
町内の集落(自治会)で限界集落があると思われるが、今後も増えていくと思われる。集落再編、合併等に検討がなされていますが、どの程度の検討状況なのか、また、どのようにすすめるのか。	自治会合併については、個々の自治会の判断、自主性に任せているのが現状です。また、町としても平成23年度「錦江町自治会統合補助金制度」を新設しました。制度内容については、2以上の自治会が自治会統合の目的とした協議会を設立した場合、1自治会につき3万円を上限として交付することができます。更に来年度からは3万円を6万円に制度改正する予定です。 現在、上部地区公民館や大原地区公民館で合併に関するアンケート調査や話し合い活動が開催されたと聞いております。このような会議を重ねていただき、自主的な自治会合併を期待します。
地域におき婦人会活動が崩壊して婦人会活動と婦人教育が皆無に近い状態となっているが、地域興しは婦人いわゆる女子の活動の無いことにより活気が失われ、自治会や地区としてもマイナス面が大である。婦人会というイメージをチェンジし、新しい感覚の女子部組織の考えはないか。	社会教育分野で女性団体としての組織活動を行っている補助団体は、「錦江町生活学校」があります。会員数は39名で、住みよい地域づくりを目指して生活者の目線で様々な生活課題や地域課題の解決に取り組んでおられます。その他、任意の協議会として「錦江町各種女性団体連絡協議会」があり、8団体が加盟しています。 しかしながら、これらの組織は、活動の拠点や加入者を見ると、質問にあるとおり、町全体に密着したもので、自治会単位を母体とした、かつての「婦人会」活動とは、地域的にかなり偏りが見受けられるのも事実です。今後は、現在あるこれらの組織の加入者を拡大し、より地域に密着した活動にしていけるよう支援を強化していきたいと考えています。
県道鹿屋吾平佐多線の平石工区の道路改修計画について	この区間は、町道平石狩倉線入口の丁字路から麓方面に向かう所です。この場所は歩道が狭い為、小中学生の通学路としては大変危険なところで以前から県への要望をしています。平成24年9月に県と地権者、役場、三者、立ち会いのもと用地取得及び補償費に関する合意を得ました。今後は登記等の手続きが終了後県の予算の付き具合にもよりますが、平成25年度以降に着工出来るものと思っております。
県道辺塚根占線(早瀬工区)の道路改良計画について	この区間は、辺志切製材所から郷ノ原自治会方面に向かう未改良部分です。現道は幅員が狭く、急カーブもあり危険なので事故の未然防止を図る為、以前から県へ早期整備を要望したところです。平成24年10月に地権者の方々へ県から事業説明がなされ、現在地権者の方々に用地交渉手続きが行われています。今後県の予算の付き具合によりますが、平成25年度以降に着工できるものと思っております。
花瀬公園バリアフリー化事業の工事概要等を教えて下さい。	花瀬自然公園は、昭和52年に大隅南部県立自然公園に指定され県民の憩いの場として県内から多数の観光客が訪れます。しかし、石畳周辺のバリアフリー化が図られていないため、高齢者や、幼児、体に障害のある方々は、石畳まで降りることが出来ません。 このようなことから、平成24年度から3年間かけて、すべての皆さんが石畳まで降りて水遊びや散歩等出来るようスロープや遊歩道の整備、旧花瀬橋の欄干の高上げ等の工事をします。また、今後野外トイレの設置や舞台の改修等を行います。